

第3回古賀市景観市民会議 NEWS vol.3



梅雨もようやく明け、猛暑の季節となった8月7日(月)、台風5号の接近に伴い開催が危ぶまれましたが、雨風ともに弱まり、無事に「第3回古賀市景観市民会議」を開催することができました。今回の会議には、市民会議委員17名と日高先生、箕浦先生、学生さん2名の計21名にご参加いただきました。

第3回会議はテーマを『“お宝景観”のあり方を考えよう！～お宝景観の特性とあり方の検討～』と題して、第2回のまち歩きにて現地確認したエリアを中心に、まちのお宝景観について、より具体的なまちのイメージ図をもとに、あるべき姿を話し合いました。

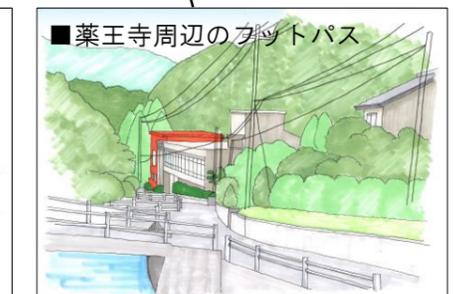
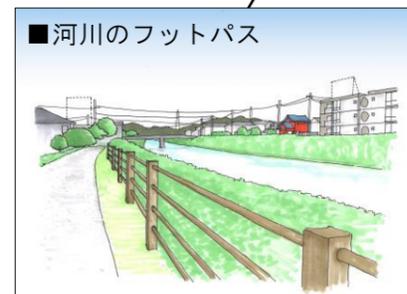
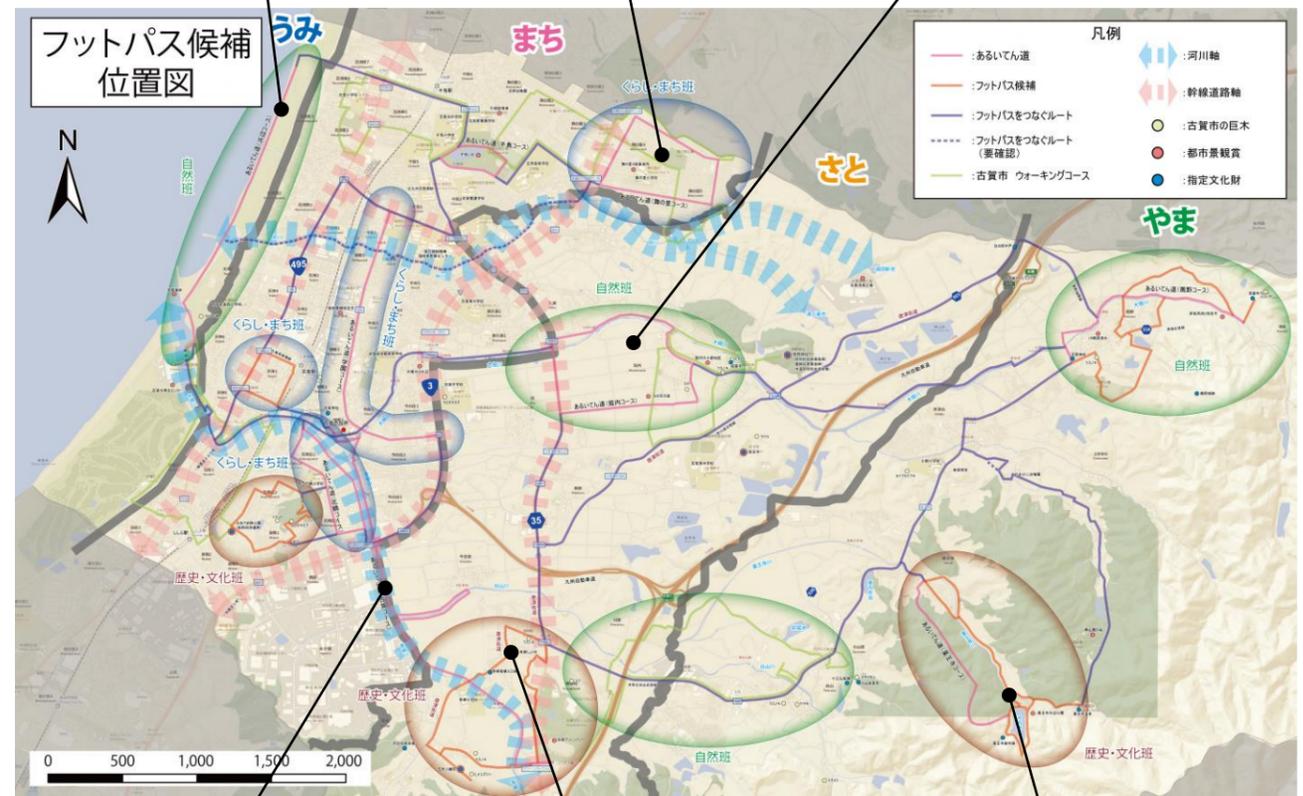
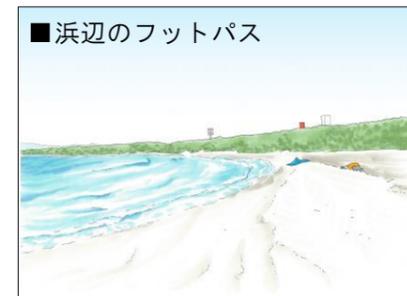
議論の中では、「イメージ図の中に書かれている派手な色彩の建物は規制したい」や「この景観を守るには電柱は地中化したい」といったご意見の他に、イメージ図を飛び越えた古賀市全体の景観のあり方についてのご意見など、多方面からの様々なご意見をいただき、活発な議論が繰り広げられました。



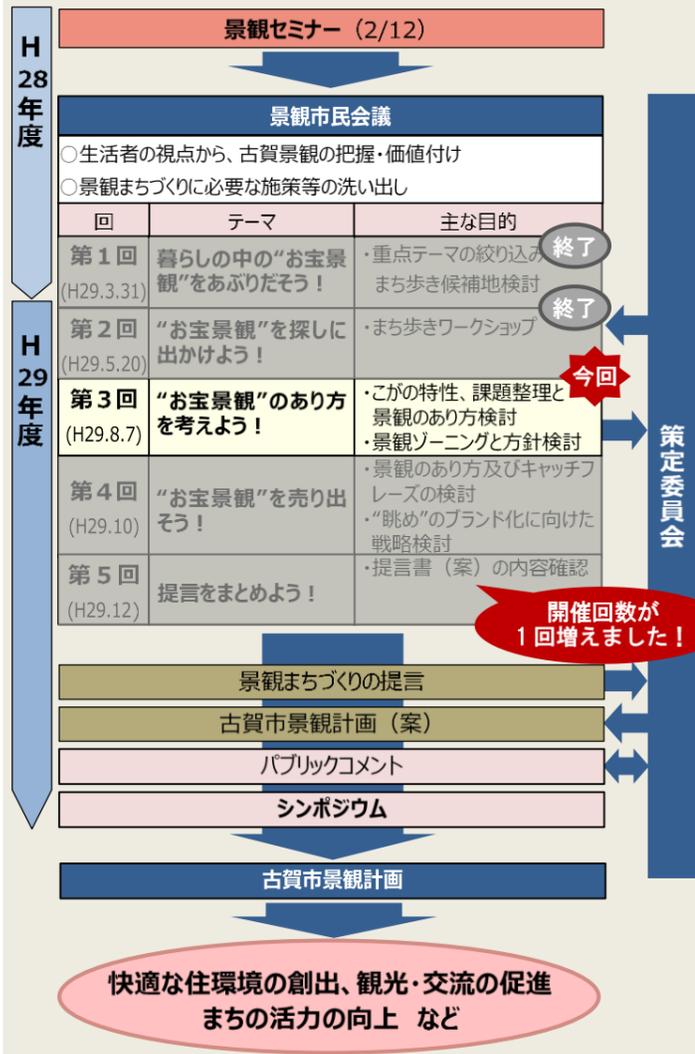
古賀市のフットパス候補位置およびイメージ図

第1回のお宝景観の発掘および第2回のまちあるきの結果を踏まえ、古賀市内でのフットパス候補およびイメージ図をもとに、各班にてフットパスの景観のあり方を検討しました。

※「フットパス」とはイギリスを発祥とする“森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと【Foot】ができる小径(こみち)【Path】”のことです。



景観づくりの流れ



第3回プログラム

- PROGRAM
- 19:00 1. 開会・あいさつ
 - 19:05 2. 全体の流れと本日のプログラムの説明
 - 19:20 3. グループ内あいさつと作業説明
 - 19:30 4. グループワーク～お宝景観のあり方を考えよう!～
 - 20:45 5. 発表・まとめ
 - 21:00 6. 閉会・あいさつ

◆各班の成果

【作業の成果】

【話し合い・発表の様子】

【フットパスにおける景観のあり方(一部意見抜粋)】

<p>くらし・まち班</p>		<p>景観の保全と人々の営みとの両立を考えるべき！</p>	<p>【舞の里周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電線の張り方が煩雑で、余った電線が束ねられていたりする。すっきり見えるよう整理が必要である。 街路樹の剪定や伐採の仕方を決めたい。植栽の手入れ方法の講習会を開催し、住民が植栽の維持管理に関われるようにしたい。 <p>【花鶴丘周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 桜並木など四季が感じられるようにしたい。 幼稚園・保育園があり、通園で歩く人が多いので、スペースを作り、ベンチや遊具などを置きたい。子どもの絵をベンチなどに描いてもらうと良い。 <p>【古賀駅前周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 木造3階建の貴重な建築物が並んでいるところが良い。 シャッターが開く街にしたい。シャッターに絵を描くと良いのではないかな。 <p>・住む人と店舗を増やし、人が行き交う元気な街にしたい。店が増えると緑も増えると思う。</p> <p>・車を通す道と通さない道を区別し、レンガ通りにしたい。</p> <p>【花見栗原線沿線のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> リーパスプラザこがができて、沿道がきれいになった。 昔と比べると歩道も道幅も広がった。 木、草が生い茂っている箇所がある。刈ってきれいにしたい。 中川の通りから見える場所が、流れが滞っていて汚い。 <p>【筵内周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 過疎化が進んでいるため、景観よりも暮らしが先である。 筵内地区の農家の人たちが田んぼに菜の花を植えてきたが、維持が難しくなっており、サポートが必要である。 菜の花まつりでは、子供たちの生き生きとした顔が見られるのが良い。 <p>等</p>
<p>歴史・文化班</p>		<p>歴史を感じられるような古賀市にしたい！</p>	<p>【鹿部山・みあけ史跡公園周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 鹿部山から海側への眺望を守りたいので、景観を阻害する高い建物は建てほしくない。 各戸建住宅に花が咲く庭木を植えてもらうと良い(実がなるものでも良い)。 <p>【青柳宿周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場の設置やシャトルバスの運行などのアクセス手段の改善が必要である。 月日、曜日などを決めて道路を歩行者専用にし、イベントを行うと良い。 青柳宿だけ道路を石畳にすると良いのではないかな。 <p>【薬王寺温泉周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ホテルや鹿などを育む自然の豊かさは守りたい。 浴衣で歩きたくなるような温泉街らしい照明が欲しい。 薬王寺温泉街の中央を流れる川の整備と、薬王寺温泉と連動した古民家の再生が必要である。 <p>【幹線道路沿線(国道3号)のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広告塔などは目印にしていることもあり、派手な看板は国道らしくて良いのではないかな。 これ以上の電光掲示板の設置や多色使いの広告は規制してほしい。 建物の色や高さ制限が必要。 緑のまち古賀として、看板のカラーを緑主体にしたらどうか。 <p>【幹線道路沿線(国道495号)のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> マンションの高さについては、直接通りに面していないため、さほど気にならず、規制する必要はない。 特に花見交差点の看板の大きさは規制してほしい。 横断歩道が少なく、車道が狭い。十分な幅の歩道の整備も必要である。 歩道幅に余裕のある箇所については、歩道に紅葉するような街路樹を植えてはどうか。 <p>等</p>
<p>自然班</p>		<p>あるいてん道を始めた、古賀の代表的なフットパスを守り育てたい！</p>	<p>【浜辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 西鉄宮地岳線跡地なども活用して、フットパスをつなげるようにしたい。 景観を守り、自然を壊さないためにも、人工的なものは作らない。 松林は保全し、ゴミなど置かないように指導を行う。 松林の保護は基本である。松林の景観を阻害する余分なものを持ち込まないことが大事。 <p>【筵内周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農業用資材、ブルーシート、オレンジシート、水タンクなどのプラスチック製品、マルチシートの廃品などに注意して、心地よい農業景観を維持する必要がある。 派手な色彩の建物や広告看板の規制が必要。 農地の景観を守るためには、農業が継続できるような政策が必要である。農村景観の土台となっている農業振興も合わせて考えるべきである。 <p>【薦野・小野公園周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 太陽光発電パネルを設置する際に、緑地を削ってまで設置するようなことはしたくないので、規制・誘導が必要。 資材置場の設置場所を制限し緑化修景をしたい。 採石場は、終わった所から順に緑化してほしい。 <p>【小山田周辺のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 郊外でのミニ開発の適正な誘導や制御が必要。 船原古墳等の歴史的雰囲気と調和したまちなみとするため、建物色彩の誘導が必要。 <p>【河川のフットパス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雑草の排除を行い、川の景観を改善したい。 派手な色彩の規制が必要である。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、グリーンパークにて竹林を駆除し、広葉樹林化する取組を行っており、今後も古賀市景観の財産として維持したい。また同時にこの活用をPRしていきたい。 <p>等</p>

第4回 古賀市景観市民会議のお知らせ
平成29年10月中に開催予定

古賀市景観市民会議も次回で第4回目となります。次回は第3回で議論した内容を踏まえ、各フットパスのあり方を表すキャッチフレーズの検討と、これらを実現させるために自分たちができることについて考えていきます。